

中国地方唯一のMBAが取得できる経営系専門職大学院が主催 特別公開講座「リーダーシップとキャリアの未来」受講者募集

県立広島大学大学院経営管理研究科（以下、HBMS という）（広島市南区宇品東 1-1-71、理事長兼学長 なかむら けんいち 中村 健一）は、時代の大きな変化の中、様々な分野において第一線で活躍する講師を招聘して開催する、HBMS 特別公開講座「リーダーシップとキャリアの未来」を企画しました。

本講座は、中国地方に在住する方を対象とし、全7回を2020年9月から2021年3月まで月1回のペースでオンラインにて開催します。

この度、9・10・11月に開催する第1回～第3回の参加者を募集します。

1 開催概要

日 程：2020年9月～2021年3月（月1回開催、全7回）

方 法：オンライン（Zoom）

費 用：無料

募集人数：各回最大100名

<第1回>

日 時：2020年9月12日（土）10:00～12:00

講 師：三戸 政和（株式会社日本創生投資 代表取締役社長）

テーマ：サラリーマンは300万円で小さな会社を買いなさい

内 容：『サラリーマンは300万円で小さな会社を買いなさい』の著書が19万部を突破。黒字経営であるにもかかわらず、後継者不在のために休廃業する優良中小企業が多くある。事実、中小企業380万社の約7割で後継者がおらず、中には株式1円でもいいから譲りたいと考えているところも。雇われる時代に培ったスキルを使って、会社を買い独立する方法とは。

<第2回>

日 時：2020年10月3日（土）10:00～12:00

講 師：鉢嶺 登（株式会社デジタルホールディングス 代表取締役会長）

テーマ：デジタルシフトの脅威・打ち手・未来

内 容：GAFAを代表に世界的プラットフォーマーが席卷し、今現場で何が起きているのか生々しい現状を紹介。そこにコロナが来たため、一層デジタルシフトの勢いが進展。21世紀はデジタル産業革命時代。もはやデジタル化しない企業、社会は生き残れない。

デジタルシフトで未来はどんな社会になるのか。そして企業のDXへの打ち手や組織作りはどうすれば良いのか。様々な企業のデジタルシフトを支援した体験に基づき、お伝えします。

著書「GAFAに克つデジタルシフト」（日本経済新聞出版社）

<第3回>

日 時：2020年11月14日（土）10:00～12:00

講 師：藤野 英人（レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役会長兼社長・最高投資責任者（CIO））

テーマ：投資家の視点で見た地域ビジネスで大切なこと

内 容：少子高齢化、空き家の増加、後継者問題に伴う企業の廃業など、地域社会は多くの社会課題に直面している。しかしこれらの課題は、裏を返せばすべてビジネスチャンスとも言える。投資家の目には、これから次々に素晴らしい企業が現れ、大きく成長する未来の日本の姿が見えている。では、これからの地域ビジネス成功の鍵はどこにあるのか？「多世代共生」「多拠点居住」「After コロナの価値観」などのキーワードを読み解く。



三戸 政和
(株)日本創生投資
代表取締役社長



鉢嶺 登
(株)デジタルホールディングス
代表取締役会長



藤野 英人
レオス・キャピタルワークス(株)
代表取締役会長兼社長・CIO



早田 吉伸
HBMS 准教授
本講座コーディネーター

2 申し込み方法

下記より HBMS のウェブサイトアクセスしお申し込みください。

<https://mba.pu-hiroshima.ac.jp/ja/events/archives/4478>

申込者には Zoom の URL を開催日前日にご連絡します。

3 問い合わせ先

公立大学法人 県立広島大学

HBMS マネジメント課

担当：岡野

電話：082(251)9726